

令和5年度第2回学校運営協議会 議事録

- 1 会議名 静岡県立熱海高等学校学校運営協議会 (第2回)
- 2 開催日時 令和5年10月28日(土) 10:30~12:30
- 3 開催場所 静岡県立熱海高等学校 図書室
- 4 参加者 学校運営協議会委員3名、管理職4名

5 会議の概要

(1) 文化祭に取り組む生徒の様子について

委員A:生徒が生き生きとしていて良い。このような学校行事は定期的に行われると良い。保護者との一体感もあった。

委員B:生徒の表情が豊かであり良い雰囲気だった。出店数も多く、中身も濃かった。茶道部の体験をしたが生徒も落ち着いてお点前を披露していた。

委員C:生徒は楽しそうに取り組んでいた。インスタグラムで告知する先生方の表情も良かった。今年度で茶道部がなくなるが、茶道は礼儀や作法を学ぶのにとっても良いので、茶道に取り組める環境があっても良いのではないかと。

(2) 学校の近況について

教頭:出欠席は、昨年度と比較して改善傾向にある。

就職について、2年連続で第1希望の就職先への合格率が100%であった。コロナ禍が明けて、全体的にどの業種も求人数が増加した。今年度より求人票をデータ化し、生徒や保護者がオンタイムで閲覧できるようになった。進学について、大学・短大進学予定者は昨年度の10%から18%に増加した。

頭髪やアルバイト規定の見直しを現在進めている。生徒は落ち着いて学校生活を送っており、昨日の校内発表も大変良い取組であった。

委員A:熱海高校の生徒は地元の評判も良い。

中学校も校則について取り組んでいる。生徒会の生徒が積極的に動いている。

生徒にとってアルバイトは貴重な経験となる。人手不足でもあり学生アルバイトも減っていて、街も必要としている。

(3) オンラインワンハイスクールについて

副校長:3年間の事業で今年3年目。予算は主に探究の時間で使っている。2年生の探究は、リノベーション、国際、自然、メディア、食の5分野に分かれて実施している。日頃の指導は教員が行っており、分野ごとに外部講師を招請して授業も行っている。このように、本校の特徴として地域との連携、探究があげられる。来年度はカリキュラムマネジメント(学校設定教科)が開講される。2年生の探究が単年度で終わらないように継続して取り組む。生徒

数が少ない利点を生かして中身の濃い学びを行っていく。本校の探究の取組は、県からも高い評価を得ている。生徒達も、大変意欲的に取り組んでいる。

委員A:予算を有効に活用できると良い。

委員B:少ない教職員でこのような取組をしており、先生方の多忙化が心配である。残りの予算を計画的に執行して欲しい。

熱海市の防災訓練で、熱海高校の生徒がお年寄りのスマホ操作のサポートをしてくれて、本当にありがたかった。熱海は高齢化が進んでいる。高校生の力は求められる。訓練の時に、お年寄りや地域の人と交流することはとても大事である。

(4) その他

教頭:次回の第3回目は最終回となる。2月上旬あたりで考えている。今後、日程調整していく。

先日放映された「NHKのおはBiz」で、本校のヨット部が取り上げられた。その映像を視聴した。